

# Heaven's White 36

愛知県立天白高等学校

私たち天白高校文芸部は、部誌を年に二回、夏と冬に発行しています。中でも夏の部誌である『Heaven's White』は、毎年文化祭で販売しているため、部員は皆気合いを入れて作品を作り、冊子にまとめます。今年も、「天白高校文芸部のすべてがわかる部誌！」を目標に作りました。文芸部の春から夏にかけてのさまざまな活動をひとつひとつ丁寧に紹介し、その活動で生まれた作品を載せたり、活動の様子をライブ感たっぷりに事細かに文字に起こす、完全版生中継など、天白文芸部のすべてを一冊の部誌にまとめてみました。

去年から、印刷製本する部誌だけでなく、電子ブック版も制作して、インターネット展開しています。付録のCDに収録しました。



お題絵、お題

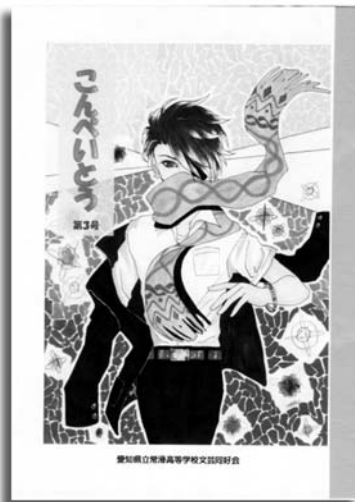
小説、夏合宿、まんが甲子園やアートフェスタ、部内ビブリアバトル、などなど、私たちの半年間の活動をぎゅーっと詰め込んだ一冊です！

(二年

北川ひな乃)

# こんぺいとう

愛知県立常滑高等学校



常滑高校文芸同好会の活動は二年目になりました。慣れないまま二年生で立ち上げた先輩は三年生となり、受験や就職試験を控えているながらも作品を創り、活動に参加してくれました。

今年の活動としては、六月に常滑市文化

協会から講師の先生に来ていただき、短歌・俳句・川柳の作り方の講義を受けました。前もって創った作品に丁寧にアドバイスをしていたことができました。その後、協会主催のコンクールに応募し、四名の生徒の作品が入選し、表彰してもらいました。小説や詩、イラストを主に創っていた昨年でしたが、今年迎えた一年生や新メンバーも一緒に、創作の幅が広がりました。

そして今年も文集「こんぺいとう」を発行することができました。図書委員会の協力もあり、昨年の文集よりも成長できたと思っています。

これからも、チャレンジしたい分野があります。たくさんの本を読み、他校の生徒作品も読んで勉強をしながら、高校生の今持っている感性で作品創りをしていきたいと思っています。

(二年 内田 沙貴)

# 文學帖 第六号

名古屋高等学校文学部

# Hydrangea

愛知県立半田商業高等学校

僕達はこの数年、名古屋高校の中で成熟してきた「俳句」を部誌の中でどう取り上げるのか、という点に腐心してきました。『文學帖』第六号の特集は「男子×俳句」。俳句の全国大会の参加ルポや、俳句の精神を論じた俳論を収録しました。評論、小説では「俳句から始まる」をテーマに、最初の一文を俳句で始めるという独自の企画に挑戦。さらに部誌のあちこちには俳句に関するコラムを掲載しました。このように、今年の『文學帖』は一貫して俳句を基調にした、独自性豊かな部誌となっています。

また、表紙の装丁、編集へのこだわりを徹底し、シンプルかつ重厚な、気品のあるものとなりました。

手に取ってもらっただけでなく、書架の一員となってたまに引き出して掌に載せてもらいたい……そのような部誌を目指して、今後も部誌制作に励んでいきたいです。

(二年 長谷川凜太郎)

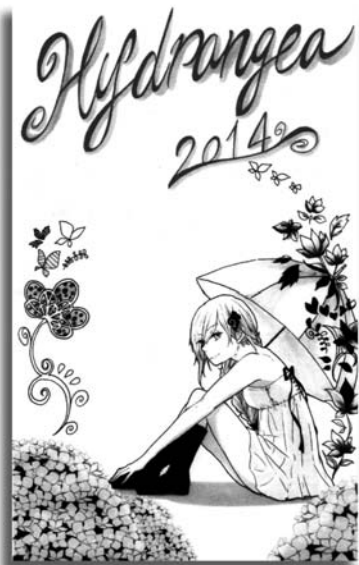
半田商業文芸部は、毎週二回の活動を行い。活動日は、俳句・川柳、短歌、詩、エッセイ、短編小説、付け句など。それぞれ、得手不得手なジャンルがありますが、全員が同じ課題に取り組みます。活動成果ともいえる部誌は、年一回の発行です。

部誌は外注せず、編集・製本まで全て部員の手で行います。今年度は前年度よりも部員数が少なくなってしまうことや、作品の数が揃わず編集・製本作業がスムーズに進むか不安でしたが、文化祭の一週間前になんとか作業を終えることができました。

部誌のタイトルでもある「Hydrangea」は和訳すると「紫陽花」。あじさいは土壌、空気、開花日数によって色が変化する花です。

そんな紫陽花のように私たち部員も毎年変化し、十人十色の良い作品が作れるように精進していきたいと思えます。

(二年 伊藤 樹)



# ユニコーン

愛知県立安城高等学校

ユニコーンは、私たち安城高校の文芸誌です。創刊は、一九八六年（昭和六十一年）で、今年で二十八年目を迎えます。年六回の発行で、文化祭の時には、創刊号から全てのユニコーンを展示し、卒業生の先輩たちにもみてもらっています。

日頃は、小説・詩・イラストと自分の好きな分野で挑戦していますが、今年の文化祭号（一五一号）は、「安城高校俳句抄」と題し、様々な俳句の活動と部員の作品を取り上げました。最近では、国の主催している国民文化祭やねりんピックなどをはじめ全国俳句大会で上位入賞を多くの部員が果たし、俳句への意欲が高まっています。

（二年 齋藤 彩乃）



# Pinnacle

愛知県立二宮高等学校

一宮高校文芸部は、毎週木曜日に活動しています。各定期考査後に部誌を発行しており、内容は各自が家で書いてきた小説や、部活動時間内外問わず描いたイラストや漫画です。部員以外の学校の生徒から投稿されたものも載せています。

小説は恋愛ものや青春小説、ミステリやファンタジーまで、様々なジャンルで賑わっています。イラストは毎号違う部員が考えたテーマに沿って描きます。

また、写真にある文化祭特別号は去年から発行しているもので、今年は文化祭特別企画として、全部員でシャッフル企画を行いました。詳細としては、部員が挙げたテーマに合わせて、他の部員が小説、イラスト、漫画の三つのジャンルから選んで書くというものです。皆が熱を入れて書いたため、総ページ数は我が校の文芸部史上最も厚い二〇〇ページ超えと、読みごたえのあるものとなりました。それに伴って、印刷や製本など、新

しい試みに挑む羽目になりましたが、今思い返せば良い思い出です。そして何より、その部誌が多くの人の手に渡ったのが嬉しかったです。

これからも、全部員で楽しく、実のある活動をしていきたいと思っています。

（二年 森 彩華）





# 青雲

愛知県立岡崎北高等学校

# 四季桜

愛知県立加茂丘高等学校

岡崎北高校文芸部では、年四回発行する「十六夜」と、文化祭にて販売する「青雲」の二種類の部誌を作成しています。

部員は総勢十一名ですが、ジャンルは多種多様です。部員それぞれの世界を表現し、楽しく書き続けることができることを第一としています。

また、締め切り前に設けている仮締切では、誤字脱字はもちろん物語の展開などにも言及し、より良い作品を作ることを心がけています。

これからも人を楽しませる作品が作り出せるよう日々精進していきたいと思えます。

(二年 杉浦 惠基)



本校は、昭和四十七年に創立された学校です。豊田市北部に位置し、緑につつまれた丘陵地に約六万六千㎡の校地が広がり、自然に恵まれたすばらしい環境にあります。

部誌名になっている「四季桜」は、地元に咲く花で、その昔ひとりの医師が苗を植えたのが最初で、それが親木となり広まったといわれています。全国でも生息は珍しく、四月と十月から十二月に二度花を咲かせます。

部員は、三年生八名、二年生五名、一年生七名の二十名です。毎週火曜日と金曜日に図書館で活動しています。部誌は、文化祭と卒業式に合わせ年二回発行しています。詩や小説やイラストなどの作品制作をなごやかな雰囲気の中で行っています。

今年度は、二回の部誌発行以外に月ごとに「テーマ」を決め、作品の発表をしています。モノクロのイラストだけでなく、カラー作品の制作にも取り組んでいます。個々の活動になりがちですが、部員みんなが協力して新しいことにチャレンジし、活気のある部活動を目指しています。

(三年 水野 夏菜)



# 卵と雛の突然変異

愛知県立国府高等学校



国府高校文芸部は、高校文化祭時の発表を含めて、年二回の部誌発行をしています。更に隔月発行の頒布用フリーペーパーを発行して作品発表をしています。

そんな部員たち

の、多くの努力の結果として完成した部誌『卵と雛の突然変異』は、県下屈指のクオリティに仕上がっています。また今年度は、部誌の中に、新聞社主催のコンクールで優秀賞を受賞した作品も含まれています。本格SF、恋愛、ホラー等、あらゆるジャンルを内包する多様性があり、飽きることありません。文芸部に入部して間もない一年生も、二年生に負けない高いクオリティの作品を作り上げてくれました。

製本以外の作業は、全て部員だけで行っております。印刷、誤字、脱字のチェック、落丁、乱丁のチェック等、多くの作業をこなして、一冊一冊、汗を流して作っています。部誌の表紙の絵も部員の作品です。

今後も努力を惜しまず、また部員が楽しく活動を続けられるよう、精一杯頑張っていきます。

(二年 桑原 杏佳)

# COSMOS

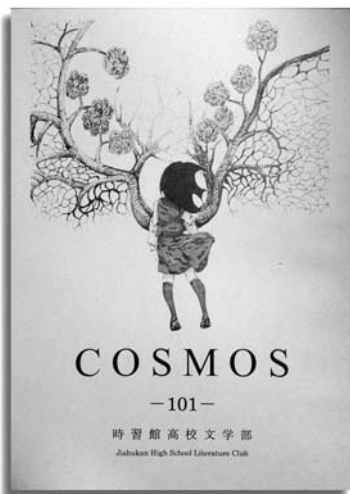
愛知県立時習館高等学校

時習館高校文学部では、春と夏の年二回部誌を発行しています。春は印刷、紙組み、製本の作業すべてを部員自らの手で行い、新入生、卒業生に配布します。夏は製本の作業を業者の方に依頼し、文化祭にて生徒及び一般の方へ向けて販売します。

また、部誌の発行後には、部員が一つ一つ、すべての作品について意見を交わす批評会を開きます。感想や良い点だけでなく改善点も細かく指摘していくので、批評されて自分の作品について知ることができ、さらに他人の批評を聞いたり、自らの作品を批評することで見えてくることもたくさんあります。そしてそれらの内容はすべてノート記録し、大切に保管して、今後に生かすことができるようにしています。

前述した時習館高校文学部の伝統を受け継ぎ、半世紀以上続いてきたCOSMOSも今年の春で記念すべき創刊から百号目を迎えることができます。これからも古くからの伝統を受け継ぎ、そして新しいことにも目を向け、時習館高校文学部部誌COSMOSをより良いものにしていくよう、誠意をもって創作活動に取り組んでいきたいと思えます。

(二年 平原 知星)



# 百花繚乱

愛知県立豊田南高等学校

豊田南高校文芸部は年三回部誌を発行しています。今年の文化祭号では今まで白黒印刷だった表紙を念願のカラー印刷にすることが出来ました。製本作業は全て部員一同で手作業で行っているのでトラブルも多いですが、その分の完成した時の喜びもとても大きいです。部誌には小説・詩・イラストなどが載せられていて、それぞれの得意な分野で個性を發揮した作品を創り出しています。

最近では部員同士でお題を交換し合って普段は思いつかない様なテーマを考えることができました。これからも多くの人に読んでいただける部誌を目指していきたいです。

(二年 山田和佳乃)

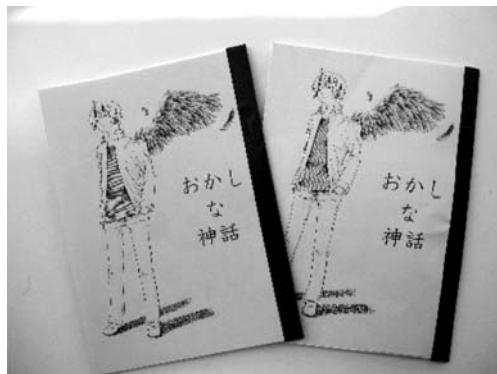


# おかしな神話

愛知県立豊橋東高等学校

私たち豊橋東高校文学部では年に自己紹介冊子、文化祭冊子、春冊子の計三冊の部誌を発行しています。本校文学部は冊子を発行するたびにお題を設けており、同じテーマでも部員各々の個性が見受けられ、この点が最大の魅力ではないかと思えます。今年の文化祭冊子のお題は「お菓子」と「神話」で、冊子のタイトルもそれに因んだものとなっています。内容は小説、イラストを中心としており、じっくりと作品と向き合いたい人、軽く目を通したい人、どちらにも楽しんで頂ける仕上がりになっています。部員は現在一年生四名、二年生九名の計十三名で、火曜日・木曜日の週二回活動しています。兼部をしている部員が多いため、部員全員が揃うことはあまりありませんが、集まった部員同士で意見を交換し合い、お互いを高めあうことに努めています。これからも新しいことに挑戦し、部員全員でより魅力的な部誌を作り上げていきたいと思っています。

(二年 木元 理緒)



# How is the weather today?

南山高等学校 女子部

私たち文芸部は年に二度、部誌を発行しています。文化祭で販売している秋部誌の「黎明」「うつけい」と、毎年テーマを設定し、部員全員がそれに沿って創作する春部誌の二種類です。春部誌は文化祭で配布しています。

この部誌は今年の春部誌です。タイトル通り、テーマは「天気」とし、それぞれの天気を題材にした小説を掲載しました。

南山女子文芸部の部員は現在十四名で、毎週木曜日と金曜日に活動しています。主な活動内容としては、タイトルを交換し、もらったタイトルで小説を書くタイトル交換や、三つの言葉を取り入れて書く三題小説、情景描写の訓練などです。他にも様々な方法を取り入れ、文章力の向上を目指しています。

部員数は少ないですが、縦の繋がりは強く、アットホームに楽しく活動しています。  
(二年 浅井 絵理)



# 篝火／つれづれ

愛知県立西尾高等学校

私たち西尾高校文芸部は二年七人、一年六人で毎週木曜日に活動しています。漫画班と文芸班に分かれて、作品をつくらしたりしています。日々の活動は毎週いくつかのお題を決めて、そのお題をもとにイラストを描き、小説を書いたりして、画力・文章力の向上に努めています。最近では、それに批評を加えたりして、クオリティを高めようとしています。

西尾高校の部誌は漫画・イラストは「つれづれ」、小説等は「篝火」と分けて掲載しています。そうすることにより部誌がはっきりとした気持ちの切りかえができ、より読みやすいものになると考えています。また、部誌に掲載される作品は部員だけではなく、投稿者として学校の誰もが掲載することができます。私たちは年に四回部誌を発刊しています。そのどれもが自分たちの手で作られています。手間暇かけてつくられた部誌は温かみのあるものと思っています。  
(二年 澤田 圭乃)





## 山 紫

愛知県立西尾東高等学校



私たち西尾東高校文芸部では、二年生四人、一年生三人の計七人で毎週火曜日と金曜日に活動しています。主な活動は、年三冊の部誌の発行です。部誌の内容は、散文、イラスト、俳句など様々で、部員一人一人の個性が、それぞれの得意な分野で表現されています。

部誌は全て部員の手で、一冊一冊に思いを込めて製本されています。読者がこの一冊を読み終えた時、「時間が経つのを忘れてしまった」なんて思ってもらえるような作品になるように、と私たちは考えています。

(二年 犬塚 綺)

## 白 い 壁

愛知県立明和高等学校

明和高校文芸部の特徴の一つとして、部員の多様な作風があります。それらが一堂に会したとき、部誌は完成するのです。明和祭などの行事に発行する『白い壁』(写真)、抽象的な文字を共通のテーマに作品を書き上げ、発行する『るねっさんズ』、さらには活動場所を共有している美術部、漫画研究部との合同誌『GORDON氏』。部誌だけではなく、行事での作品展示にも取り組んでいます。普段の活動は部員の自由で、集まって何かする、ということはありませんが、日々、各々が創作に勤しんでいます。

(二年 羽塚 英明)

